



いよいよ「活動通信」も最終号となりました！

No.23では、身近な場所での掲示や日々の訪問を通して、利用者さんとともに訪問看護を伝えてくださった活動をご紹介します！

01 橋本市訪問看護ステーション様（和歌山県）



手ぬぐいをポスター掲示してみた！

橋本市訪問看護ステーション事務所に掲示して訪問看護のPRを行った。
訪問車のボンネットに置いてPRすると共に日よけに活用しました。
訪問看護PRの為に良いアイテムを提供いただけて有難かったです。ちょっとしたきっかけで話題が広がり良いアイデアだなと思いました。

02 訪問看護ステーションパウ様（愛知県）



訪問看護をどんどんPRしなきゃ!!

スタッフ全員毎日手ぬぐいを首に巻き（保冷剤を入れるとちょうどいいです！）出勤しています。

ご報告として、利用者さんのリハビリのひとこまをお送りします。

この利用者さんは退院後連日訪問看護を利用し大きな褥瘡を完治させた頑張り屋さんです。「訪問看護をどんどんPRしなきゃ!!」と前向きに参加してくださいました。

活動通信を終えて

— 全国から届いた“訪問看護の風” —

手ぬぐいを首に巻き、訪問バッグに結び、日々のケアやリハビリ、暑さ対策、防災、地域のイベントや研修会に活用する——。皆さまから届いたご報告には、私たちの想像を超える多彩な工夫があふれていました。街から山頂まで、子どもから高齢者まで、一枚の手ぬぐいがさまざまな場所や人へ運ばれ、会話や笑顔を生みながら“訪問看護の風”を届けてくれました。

ご多忙のなか「手ぬぐいPR作戦」にご参加いただき、活動のお写真やご感想を丁寧にお寄せくださった会員の皆さまに、心より感謝申し上げます。皆さまから届いた一枚一枚の写真、一つひとつの言葉があったからこそ、この活動通信を最終号までお届けすることができました。

活動通信はこれで一区切りとなりますが、訪問看護の普及に向けた歩みはこれからも続きます。

日本訪問看護財団は、訪問看護が地域の皆さまにとって、より身近で頼れる存在となるよう、今後も皆さまとともに普及・啓発活動に取り組んでまいります。

